

私たちが幼い頃は、授業参観・発表会などに出席していたお父さん方をほとんど見ることはありませんでした。

しかし、近年「イクメン」という言葉も生まれるほど、子育てに対して積極的なお父さんが増え、学校でも見かける機会も多くなってきました。

それでも、PTA活動への参加は敷居が高く感じられるようで敬遠されがちです。

他校では「おやじの会」と称される活動が、中川小では「土手の会」となります。それではまず「おやじの会」とはどのようなものなのか調べてみま

した。

「おやじの会」とは
「どのようなものなのでしょうか?

1982年に神奈川県川崎市で発足した、「おやじの会」いたかが始まりといわれています。20~30年前、父親は外で仕事をし、家事・育児は母親の役目というイメージが強い時代です。そのイメージを拭し、子育ての場に父親の存在を示すために始めたようです。しかし、PTAと違い、自主的に集まつた集団であるがゆえに活動するには色々な苦労もあるようです。今でこそ認知度があるので学校やPTA、地域との協力連携もとりやすくなり、近隣の学校との交流会なども含め、活動の幅も広がっているよ

うです。

多くの「おやじの会」が活動として取り入れているのが運動会・バザー等のお手伝い、子どもたちが楽しめるイベントやふれあい活動、登下校の見守り、学校内外の清掃活動、研修講演会、季節の行事などです。「土手の会」で取り組んでいる活動もほぼ同じ内容になっているようです。では、実際にどんなことをしているのかいくつか紹介したいと思います。

どんな活動をしているの?

多くの「おやじの会」が活動として取り入れているのが運動会・バザー等のお手伝い、子どもたちが楽しめるイベントやふれあい活動、登下校の見守り、学校内外の清掃活動、研修講演会、季節の行事などです。「土手の会」で取り組んでいる活動もほぼ同じ内容になっているようです。では、実際にどんなことをしているのかいくつか紹介したいと思います。



「おやじの会」って?

インターネットで「おやじの会」と検索してみたところ、幼稚園・保育園から高等学校まで、全国各地に様々な形で活動していることが分かりました。

現在では、およそ5000団体近くあると言われています。各学校、発足した理由は様々ですが子どもたちのためにできることをしよう、保護者間の親睦を深め子ども、学校、地域とのつながりを大切にしたい、子どもたちが安心して生活できるようにしたいなど、ほぼ同じような目的のもと活動しており、活動内容も参加者の皆さんへの負担にならないようにしているようです。



「土手の会」会員募集!

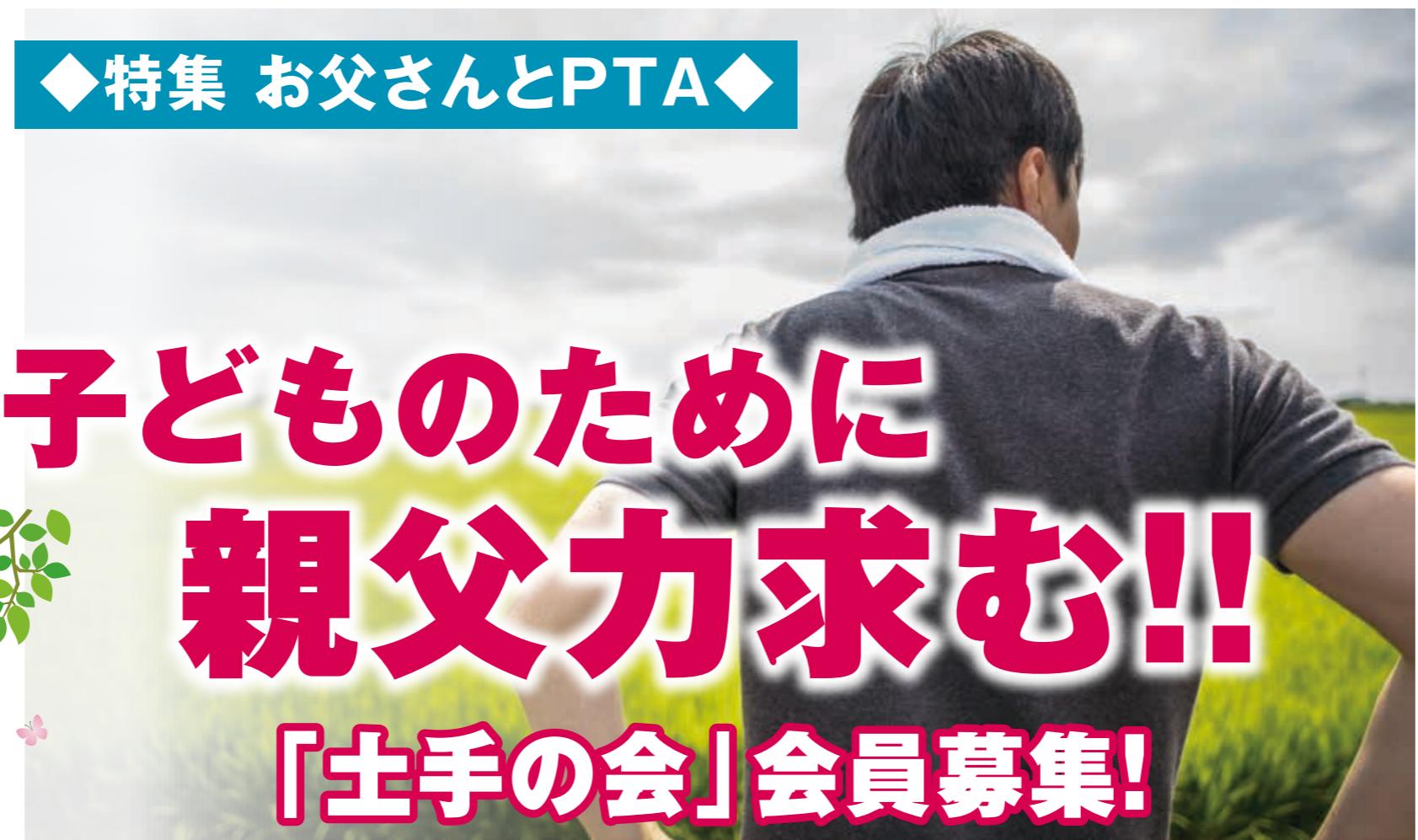
「土手の会」会員の職業はさまざまです。活動以外に飲み会を通じて、父親同士のつながりが、より深まっています。本来の活動の目的以外にこのような会の良さもあり「土手の会」に入ってよかったです。声も多く聞かれます。地域やお母さん方、周囲とのつながりも深まれば、中川小がもっとイキイキ輝いていくのではないでしょうか。お父さん方も活躍できる場を盛り上げることができ、子どもたちのためと共通する目的で相互協力の下、積極的に中川小を盛り上げてほしいものです。

あなたも「土手の会」の活動に参加されませんか?

土手の会会長 小木田希典

◆特集 お父さんとPTA◆

子どものために 親父力求む!! 「土手の会」会員募集!



父親と子育てについての再発見!

私が思い描いていた理想的の父親とは、たくましく何でもできる優しいお父さん。しかし、いざ父親になってみると、自分が得意なことは率先して教えるけれども、苦手な分野には消極的。これで本当に良い父親になれるのだろうかと悩んだこともあります。

そんな思いとは関係なく、子どもたちは今日の出来事を楽しそうに話してくれます。そんな日常のささやかな事が家族全員に笑顔を与えてくれます。子どもたちと話すことがすごく大切でかけがえのないものだと気がつきました。今子どもたちが何に興味があり、どんなことを考えているのか少しずつ分かつてきました。



長男は学校の将棋クラブに入ったことがあります。きっかけで、私が将棋の駒の動かしかたを教えることになりました。すると、私もいつのまにか将棋のことが好きになっていました。

日々の上達ぶりが分かり感心したことあります。

立派な父親になるということを意識するよりも、子どもたちと多くの会話をして、一緒に食事を楽しむことが、私にとってのごく自然な子どもたちへの接したでした。これからも子どもたちとの会話を楽しみたいと思います。

お父さん方を募るのは苦労しているようですが、OBの協力をもらう学校も多いようです。「土手の会」は、ほとんど土曜・日曜日の活動です。また、「土手の会」会員でなくとも、できる頃にやつと全クラス決まり、「学年と夏休みに活動できない」という事態になってしましました。

他校でも、同じように参加してくださるお父さん方を募るのは苦労しているようですが、OBの協力をもらう学校も多いようです。「土手の会」は、ほとんど土曜・日曜日の活動です。また、「土手の会」会員でなくとも、できる頃にやつと全クラス決まり、「学年と夏休みに活動できない」という事態になってしまいます。

父親にとって、職場の友人関係が深くても、地域での友人関係は希薄とよく言われます。やがて退職した際の友人はかなり少なくなるとよく聞きます。反対に、母親はPTA活動や授業参観などで新たな友人関係を深めています。

やがてこの地が、私たちの第二の故郷になる方が多いなかで、地域の友人関係のつながりを広げることはとても有意義なことであ

ります。中川小では生活指導部が月1回行っている「巡回バトロール」、長期休業明けに行っている地域部の「登下校指導」がそれに当たると思われます。地域によっては毎日、登校指導を行っているところもあるようです。この時期、暗くなる時間も少し早くなっています。年末にかけて事件、事故も増えてきます。買い物や散歩の時間を子どもたちの下校時間に合わせてみるのもいいかもしれません。